

5 歳児

前期(架け橋期 I 期 4月～9月)



友達同士で知恵をはたらかせ、
目的に向かって自分の力を出す、

資質・能力	園で予想される姿	園での関わり
<p>自分のことは自分です</p> <p>健康で安全な生活をする</p>	<ul style="list-style-type: none"> 園内の最高学年として、園の行事（入園式、離任式、誕生会の司会など）に取り組んだり、3・4歳児の世話をしたりする機会をとおして、年長児としての自覚をもつようになる。  <ul style="list-style-type: none"> 園での一日の見通しをもちながら生活を進めるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学級の友達と会の係を決めて自分たちで準備をしようとする姿や年下の友達と関わろうとしている姿を認め、自信につなげる。 自分たちで生活を進めていく意識がもてるよう、当番活動では、生活の中での必要感から自分たちでできることを考えて、当番の内容を決める。 次の活動や翌日の予定など、期待をもって過ごせるよう、1日の予定表やカレンダーを活用し、視覚的に手順や見通しを示す。   
<p>体を十分に動かし、進んで運動しようとする</p>	<ul style="list-style-type: none"> 食べることの楽しさが分かり、食べ物に関心をもったり、食べ物大切さを感じたりするようになる。 <ul style="list-style-type: none"> 進んで戸外に出て、思いきり体を動かしたり、自分なりのめあてをもって取り組んだりするようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 栽培物を育てる中で食べ物ができるまでの過程や大変さを感じられるようにしたり、生長や収穫を喜び学級の友達と一緒に食べる機会をつくったりする。 一人ひとりの力が十分に発揮できるよう、役割分担やチーム分けなどに配慮し、頑張りを十分に認める。 学級（学年）のみんなで運動遊びに取り組めるようにし、教師も一緒に体を動かすことで楽しさに共感する（縄跳び、鉄棒、リレーなど）。 

意欲あふれる5歳児



家庭で大切にしたいこと（保護者の関わり）



- 年長組になり、自分でしようとしている姿を認め、見守りましょう。時間にゆとりをもって登園し、園までの道のりの中で、園生活のことや夕飯の献立のことなど日常のことを話して、親子の会話を楽しみましょう。
- 年長児として頑張っていることや、行事で取り組んでいることなどを言葉にして認め、子ども自身が成長したことを感じるができるようにして、共に成長を喜びましょう。
- 忘れものをしないように、毎日親子で必要なものを一緒に準備をしましょう。
- 物の使い方、片付け方等、家でのルールを子どもと一緒に決め、自分で整理整頓ができるようにしましょう。
- 休日には、親子で公園等に出かけ、自然の中で、体を動かして遊びましょう。



- 一緒に料理をする、一緒に買い物に行って食材を選ぶ、調理方法を考えるなどして、少しずつ苦手な食材に興味をもてるようにし、食べる機会をつくりましょう。
- 楽しい雰囲気の中で一緒に食べながら、箸の持ち方や姿勢、食べ方等を丁寧に知らせていきましょう。



- 勝敗のある遊び（リレー、鬼遊びなど）では、勝って嬉しい、負けて悔しい、負けるからやりたくないなど、様々な感情体験をしますが、どれもとても大切な体験です。頑張っていることや挑戦していることを十分に認め、後押ししてあげましょう。



友達同士で知恵をはたらかせ、
目的に向かって自分の力を出す、

資質・能力	園で予想される姿	園での関わり
好奇心や探究心をもって、ものに関わる	<ul style="list-style-type: none"> 遊びや生活の中で不思議に思ったことや感じたこと、考えたことを教師や友達と一緒に考えようとする。 うまくいかなくても、粘り強く取り組み、繰り返し試行錯誤するようになる。 遊びのイメージに合った材料やものを選ぶようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 幼児の思いや考えを受け止め共感したり、面白がったりしながら、一緒に考えたりする。 「なぜだろう?」「どうしてだろう?」という気持ちに寄り添い、さらに調べたり、追究したりして、やりたいことを実現できるように支援する。 自然物や自然事象の美しさや不思議さなどに気付けるよう、機会を逃さず、取り入れていく。 ものの性質に十分に触れ、試行錯誤して遊ぶことができるように、遊具や用具を用意する。(砂、土、泥、水、色水など) 
感じたこと、考えたことを言葉で伝える	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いや考え、イメージしたことなどを言葉で伝え合うようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し言葉による理解力と豊かな表現力を伸ばしていけるように、伝えたい気持ちを受け止めて、言葉にするのを待ったり、伝え方を知らせたりする。 様々な表現の方法を実態に応じて提案し、思いや考え、したいことを実現できるようにする。 学級全体で遊びの情報を共有する機会を設け、互いの遊びの気付きや面白さを共有したり、友達のよさに気付いたりする機会になるようにする。
文字や数量などの感覚を豊かにする	<ul style="list-style-type: none"> 遊びの中で数や文字に関心をもつようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 物の数の概念を、遊びや生活の中での体験をとおして分かるようにする。(1対1対応など) 遊びや生活の中で必要感から大小、長短、高低などに関心がもてるようにする。 書いたり読んだりすることにつながるまでの遊びや生活を大切にする。(出欠調べ、栽培物の生長の様子や収穫、しりとり、逆さ言葉選びなど) 

意欲あふれる5歳児



家庭で大切にしたいこと（保護者の関わり）



- 先回りして知識や言葉等を教えるのではなく、幼児が不思議に思ったことや感じたこと、考えたことなどを受け止めることで、幼児の発想や知的好奇心を大切にしましょう。
- 行事への取組は、当日までの過程が大切で、友達と共通の体験を積み重ねることで、子どもは大きく成長します。体調を整えて、毎日、時間に間に合うように通園することが大切です。
- 子どもの成長を共に喜び、「〇〇をよく頑張っているね。」と認めてあげましょう。



- 子どもが言葉で伝えようとする気持ちを大切に、先回りせず子どもの話をゆっくりと聞いて言葉が出てくるのを待つようにしましょう。
- 日常生活の中で大人が会話のモデルとなりましょう。「きれいなチューリップが咲いていたね。」「夕焼けがひかっているよ。」など、子どもとの会話を楽しみましょう。





- おやつを等分に配る、食事の皿や箸を配膳する、飲み物を家族の人数分に分けるなど、生活における手伝い等をとおして、子どもが数や量を意識できるようにしましょう。
- 少しずつ平仮名が読めるようになる姿が見られるようになりますが、子どもが情景を想像しながら話のイメージをもてるよう、引き続き絵本を読む機会をもちましょう。寝る前の10分間など時間を決めて日々の習慣にするとよいです。

5歳児

前期(架け橋期Ⅰ期) 4月～9月



友達同士で知恵をはたらかせ、
目的に向かって自分の力を出す、

資質・能力	園で予想される姿	園での関わり
あいさつをする	<ul style="list-style-type: none"> 知っている人や自分よりも目上の方へのあいさつなど、相手や場所に応じてあいさつをするようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常のあいさつに加え、フォーマルな場所でのあいさつの仕方や声の大きさなど、保育者が模範を示しながら意識できるようにする。 地域の身近な人と関わる中で、親しみを感じたり、地域の行事に興味をもったりできるようにする。
人と関わる	<ul style="list-style-type: none"> 目的に向けて友達と一緒に遊びを進めていくようになる。  <ul style="list-style-type: none"> ときにぶつかり合いながら、友達に考えやイメージを伝えたり、受け止め合ったりしながら、一緒に遊びを進めようとするようになる。(しかし、ぶつかり合いもある。) 	<ul style="list-style-type: none"> 一人ではできない遊びの楽しさや友達がいるからこそできる楽しさを実感できるように、幼児の興味や関心に応じてダイナミックな遊びの経験ができるようにする。 遊びの実現のために、幼児同士の関係性や遊びの展開を予測しながら、自分たちで乗り越えられる程度の困難かどうかを見極め、解決に向けたヒントになる言葉を掛けたり、具体的な手助けをしたりする。 友達同士の主張のぶつかり合いでは、気持ちに寄り添い、話し合いの時間を確保し、自分たちで解決できるように働きかける。他の幼児にも知ってほしい内容の際には、学級全体で振り返りの機会を設け、みんなで話題にする。
きまりや約束を守る	 <ul style="list-style-type: none"> 相手が嫌がるような言葉やされたら嫌な行動などが分かり、自分で考えて行動するようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 話したい気持ちを受け止めながら、「なぜそう考えたの?」「どうしてそう思ったの?」と理由を尋ねたり、伝えたいことが相手にわかるように言葉を引き出したり知らせたりする。
	<ul style="list-style-type: none"> 友達と生活する中で、きまりの大切さに気付き守ろうとするようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学級全体できまりについて話し合う機会や、どうしてそのきまりがあるのか考える機会をもつことで、子ども自身がきまりの大切さに気付き必要感をもてるようにする。

意欲あふれる5歳児



家庭で大切にしたいこと（保護者の関わり）



- まずは、大人が気持ちのよいあいさつを心がけましょう。



- その日の出来事や思ったことを親子で話す時間をつくりましょう。入浴の時間、寝る前の時間などは子どもがリラックスして話しやすい時間のため、おすすめです。
- 子どもの顔を見て話したり、うなずきながら聞いたりして、気持ちのやりとりを楽しむ会話をしましょう。








- 学級の中には、様々な個性の子どもがいます。それぞれの子ども（友達）の得意なことに目を向けられるよう、話題にしましょう。



- 人にしてはいけないこと、言ってはいけないことに対しては、その理由や意味を知らせるとともに、大人が善悪の判断の基準をしっかりと示すようにしましょう。



友達同士で知恵をはた
目的に向かって自分の

資質・能力	園で予想される姿	園での関わり
<p>自分のことは自分です</p>	<ul style="list-style-type: none"> 活動の区切りや時間を意識し、見通しをもって生活するようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> カレンダーや時計の模型、予定を記したホワイトボードなどを活用し、絵やイラストとともに文字による表記で子どもが生活に見通しをもち、自分から必要なことを考えたり、取り組んだりできるようにする。 片付けや集合時、食事の場面で時計を使いながら、時間の感覚や意識を育てていく。 「あと5分しかないから急ごう」 「まだ30分あるから、もう少し遊べる」 自分で活動の区切りをつけたり、気持ちを切り替えたりすることができるように促す。 
<p>健康で安全な生活をする</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生活の中で必要な仕事の内容が分かり、友達と進んでしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 当番活動やグループ活動などで自分からすることを見付けたり、グループの友達と声を掛け合ったり、力を合わせたりしている姿を認める。
<p>体を十分に動かし、進んで運動しようとする</p>	<ul style="list-style-type: none"> 少し難しいことにも繰り返し挑戦し、できるようになった自信をもち、様々なことに意欲的に取り組めるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 集団での遊びや様々な運動遊びを楽しめるように、活動を取り入れる。 あきらめずに挑戦することで上達を実感できるよう、頑張っている姿を具体的に認めたり励ましたりし、自信や意欲につながるようにする。 

らかせ、
力を出す、意欲あふれる5歳児



家庭で大切にしたいこと（保護者の関わり）



- 起床時刻、食事時間を一定にするなど、家庭でも生活リズムを整え、親子で実践しましょう。「よく気付いたね、今、〇〇する時間だね」等、自分で気付いて行動できたときには十分に認めましょう。
- カレンダーに予定を記入したり、「あと〇日で発表会だね」など話題にしたりして、見通しをもって生活できるようにしましょう。
- 「ご飯の準備をしましょう。何が必要かな」など、自分で考えて行動することを促す働き掛けを、家庭でもやってみましょう。






- 通学路を一緒に歩いてみましょう。
- 小学校入学の嬉しさとともに不安を感じる子どももいます。「〇〇しないと1年生になれませんよ」という言葉は使わないようにしましょう。
- 学校のことを話題にしながら新しい生活を楽しみにできるような言葉を掛けましょう。
- 子どもの話をよく聞くようにしましょう。「聞き上手」「話させ上手」を心がけましょう。



- 園で頑張っていること、取り組んでいることの話丁寧聞き、認めたり励ましたりしましょう。また、家庭の中でも様々な体験ができるようにし、挑戦しようとする姿を認めたり、励ましたり、手伝ったりして支えていきましょう。



友達同士で知恵をはた
目的に向かって自分の

資質・能力	園で予想される姿	園での関わり
<p>好奇心や探究心をもって、ものに関わる</p>	<ul style="list-style-type: none"> 物の仕組みに興味をもったり、疑問に思ったことを試したり確かめたりしてじっくりと遊ぶようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 幼児の興味や関心を捉えて豊かな経験につながるような用具や材料を用意し、じっくり取り組める時間と場を保障する。その中で、幼児なりの気付きや発見に共感し、試行錯誤することや興味の追究が楽しめるようにする。
<p>感じたこと、考えたことを言葉で伝える</p>	<ul style="list-style-type: none"> その場の雰囲気や状況に合わせた言葉の使い方や表現の仕方(声の大きさ等)が分かり、相手に分かるように話せるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の言葉で友達や保育者に思いや考えを伝えたり、自分たちで話し合いを進めたりしようとする姿を認めながら、声の大きさ、伝え方、話を聞く側の態度などについて、幼児自身が意識できるように関わっていく。 
<p>文字や数量などの感覚を豊かにする</p>	<ul style="list-style-type: none"> 遊びや生活の中で、文字や数の必要性や便利さに気付き、比べたり、分けたり、読んだり、かいたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 文字や数を遊びの中で使ったり、グループで競い合っただりする機会をつくる。(かるたやすごろく作り、コマ挑戦カード、得点表など) 生活や遊びの中で、文字や数の必要性や便利さに気付くことができるような活動を継続して行い、幼児に任せる部分を増やしていく。(出欠調べ当番、会の招待状やお礼状 など) 

らかせ、
力を出す、意欲あふれる5歳児



家庭で大切にしたいこと（保護者の関わり）



- やりたいことにじっくり取り組める場と時間を確保し、見守りながら、自分なりに試したり確かめたりしている姿を認めるようにしましょう。
- 遊びや生活の中で実際に体験していることが、小学校の学習や生活の基盤になっていきます。ご家庭の遊びや生活の中でも、様々な体験ができるとういのです。



- 自分の言葉で伝えようとしている姿を受け止めながら、相手に伝わるような道筋を立てた話し方、状況に応じた言葉の使い方を確認したり、保護者自身も丁寧な言葉遣いを意識したりするなど、親子で実践していきましょう。



- 文字や数への関心を捉えて、興味が広がる環境をつくりましょう。(50音表をいつでも見られるところに準備しておくなど)
- 手紙を書いたり、買い物やお手伝いをしたりするときなど、単位や値段、看板などを話題にし、実体験をとおして数や量、文字に興味をもてるようにしましょう。



友達同士で知恵をはた
目的に向かって自分の

資質・能力	園で予想される姿	園での関わり
<p>人と関わる</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 楽しかったことや頑張ったことを思い出したり、以前と今を比較し自分たちの成長を実感したりして、自信をもつようになる。 • みんなで一緒に活動する中で、学級の一員としての力を発揮したり、みんなで心を通わせ、取り組むことの一体感を感じたりするようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 学級の中で、友達同士、認め合う関係づくりを大切に、一人ひとりが自信をもって生活できるようにする。 • 互いのよさに目を向けたり気付いたりできるような機会を大切に、友達と認め合いながら、心をつなげて共通の目的に向けて取り組むことで、充実感や達成感につなげていくようになる。 
<p>きまりや約束を守る</p>	<ul style="list-style-type: none"> • きまりやルールを守って遊ぶようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 生活のきまりや遊びの中でのルールを守ることが、みんなが気持ちのよい生活を送ることにつながるという、きまりの必要性を感じながら生活できるようにする。 

らかせ、 力を出す、意欲あふれる5歳児



家庭で大切にしたいこと（保護者の関わり）



- 我が子らしい成長の姿を見つけて、よさを認め、自信となるよう関わっていきましょう。
- 行事への取組など学級のみinnで取り組むことで味わう充実感や達成感は、子どもにとって大切な経験です。是非、家庭でも話題にしましょう。多少、困難なことがあっても「大丈夫!みんなの力を合わせると、どんなことでもできるね」と気持ちを後押ししましょう。
- 他の子どもと比較せずに、「こんなことができるようになっただね」「心も体も大きくなったね」「みんなで仲良く過ごせてよかったね」など、我が子の成長を言葉にして伝え、自信をもって小学校へ入学できるようにしていきましょう。
- 生活グループが変わることは、友達との関係を広げるきっかけとなります。子どもが友達のよさや得意な面を見付ける姿を、認めていきましょう。



- 安全に関わること等（コンロには触らない、インターホンが鳴っても勝手に出たり、玄関を開けたりしない、浴槽や洗濯機で遊ばない、勝手にベランダに出ない、出かけるとき手をつないで歩くなど）家の約束はきちんと決め、守れなかったときには、行動を叱り、諭すようにしましょう。
- どうすればよかったのか、なぜ約束が必要なのかを自分で考えられるようにしましょう。そして、叱ったあとは、ゆったりと気持ちを受け止めてあげましょう。